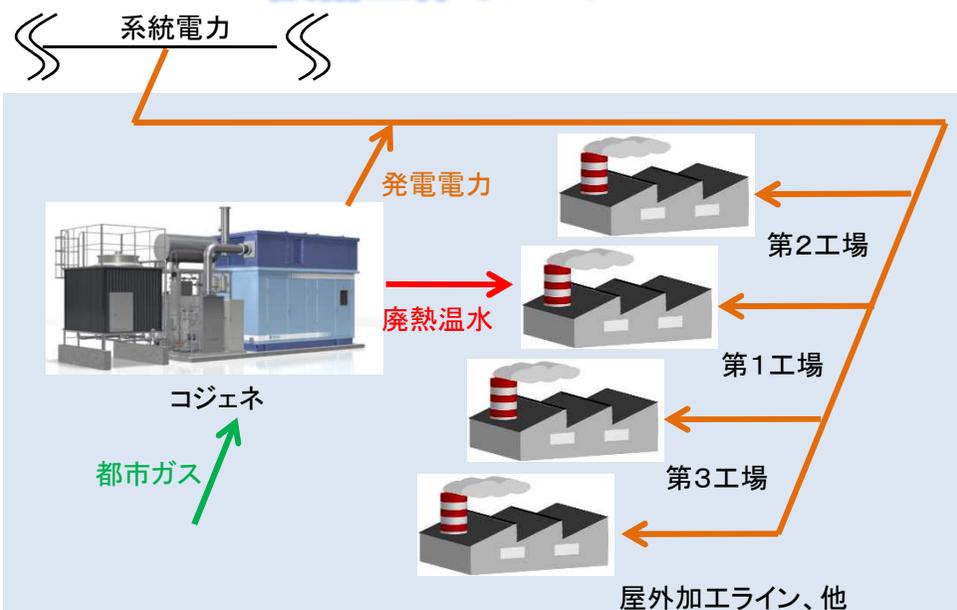


工場内の複数建物への電力融通及び一部工場内への廃熱温水融通事業

<事業概要>

- (株)スパンクリートコーポレーション宇都宮工場に、高効率コジェネを導入し総合的な省エネルギーを図る。
- 発電電力は系統連系した上で、構内の3建屋(第1工場～第3工場)や屋外加工ライン等の生産設備で利用し、同時に廃熱温水を第1工場の生産設備で利用することで、省エネルギー率約35%を達成。

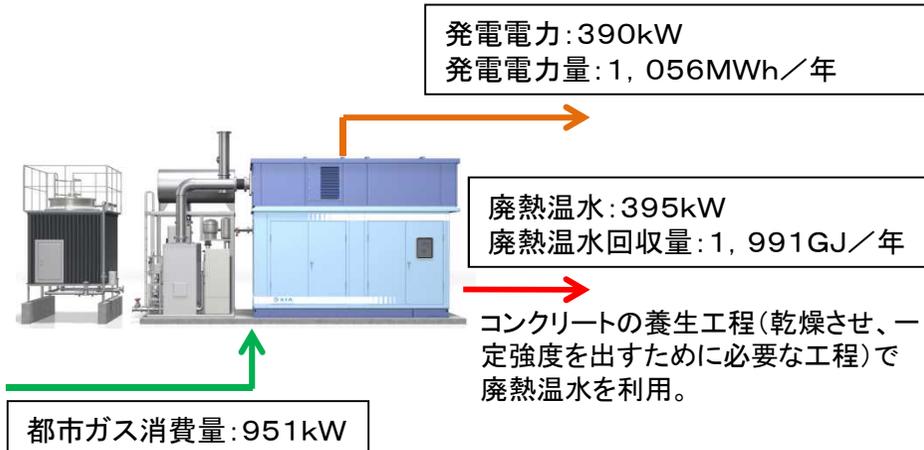
設備全体イメージ



事業者	株式会社スパンクリートコーポレーション宇都宮工場
住所	栃木県 宇都宮市 平出工業団地 8-5
用途地域	工業専用地域
事業スケジュール	2016年1月 完成
総事業費	約1.2億円

導入効果

高効率ガスコージェネレーションシステム



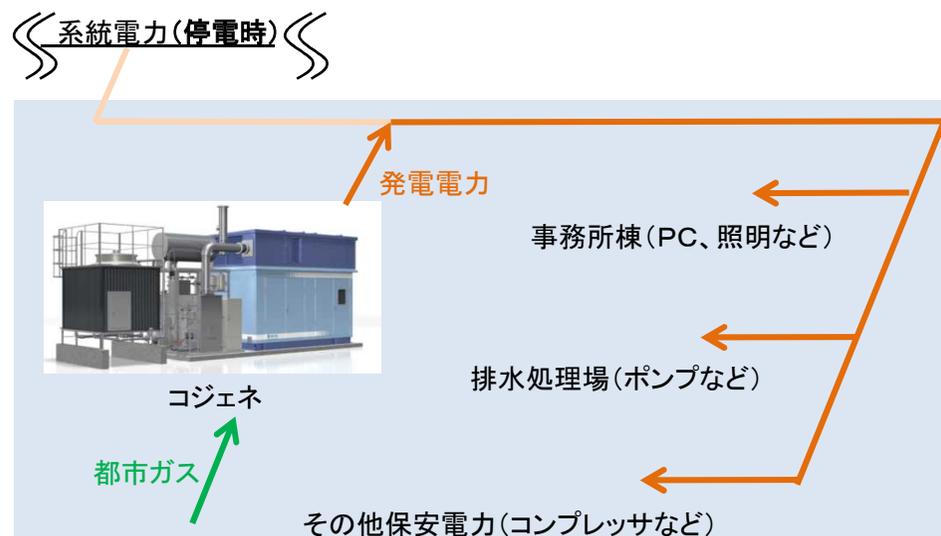
項目	単位	数値
発電電力量	MWh/年	1,056
温水利用量	GJ/年	1,991
省エネルギー量	kL/年	134
省エネルギー率	%	35.1
省CO ₂ 率	%	22.5

工場内の複数建物への電力融通及び一部工場内への廃熱温水融通事業

＜事業のポイント＞（BCP対応、電力負荷追従）

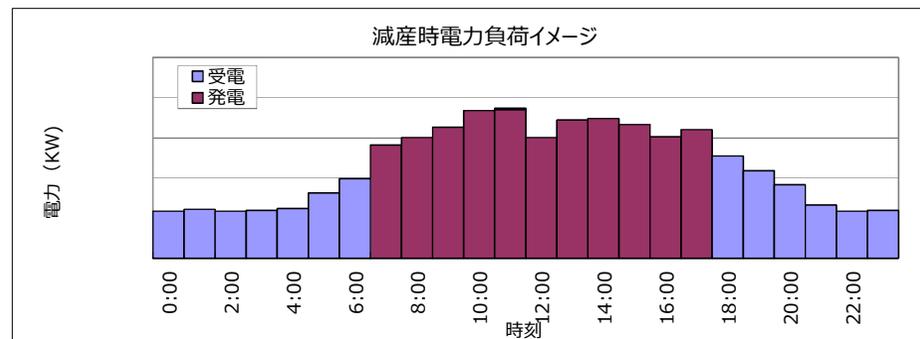
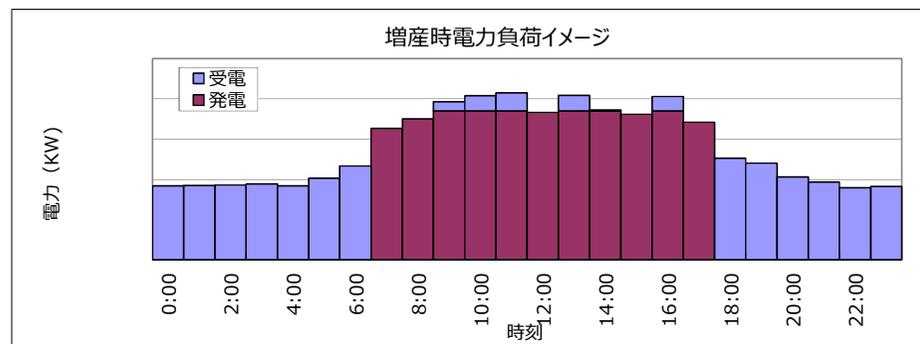
- 系統停電時にはコジェネをブラックアウトスタートにより再起動することで、重要負荷を賄う保安電力を確保。
- 低負荷時においても、負荷率75%までは、コジェネの部分負荷運転を行い、電力負荷を最大限コジェネで賄う。

系統停電時の保安電力確保



- ・BCPとして、系統停電時には、コジェネをブラックアウトスタートにより、再起動することで、重要負荷を賄う保安電力(160kW程度)を確保する。
- ・重要負荷は、事務所棟(PCや照明など)、排水処理場(ポンプなど)、その他(コンプレッサなど)であり、系統停電時には順次負荷投入を行うことで給電が継続される。

電力負荷に応じた運転



- ・生産量の変動し、電力負荷が減少した場合でも、負荷率75%までは、コジェネを部分負荷運転する事により、電力負荷を最大限コジェネで賄う。